

コロナ2019が研究所から流出した遺伝子 組み換え生物であることの遺伝子学的証明

中央区・はなクリニック 徐 昌教（医師）

2003年に東アジアでSARSが広がった。それ以後、世界中でコロナウィルスの遺伝子組み換え実験が始まった。

- 2005 オランダ マウスのコロナウィルスを、細胞の継体培養で遺伝子変異させた
- 2006 米 SARSウィルスに遺伝子挿入実験
- 2006 スペイン SARSを人工合成
- 2007 - 2008 コウモリコロナとヒトコロナを合成
- 2008 日本 SARSにプリン遺伝子挿入
- 2009 米 SARSに5つのアミノ酸遺伝子を挿入
- 2011 中国 コウモリコロナのスパイク蛋白をマウスコロナに挿入
- 2013 MER Sのクローン合成
- 2015 マウスコロナとコウモリコロナの合成ウィルス作成
- 2016 中国 コウモリコロナをマウスコロナに挿入
- 2018 中国 8種類の合成コウモリコロナをヒト細胞に感染させる実験
- 2019 中国 鶏のコロナウィルスを感染性気管支炎ウィルスに挿入

これらの研究は**遺伝子組み換え**によってウィルスの危険性をたかめる「**機能獲得研究**」と呼ばれるものである。これらの論文はウィルス研究者が「私が新しいウィルスを作りました」という告白であり、犯行声明ともいえる。

最新の遺伝子研究から、2019 コロナウィルスが人工産物であることの証明を試みる。